

県内生産者の農産物の安定供給先として期待

～ (株)JAさが富士町加工食品(佐賀県佐賀市) ～



1 組織の概要

組織名称	(株)JAさが富士町加工食品
業種	食料品製造業
代表者名	代表取締役社長 副島 俊輔
所在地	佐賀県佐賀市富士町下無津呂361-1
連絡先	TEL:0952-57-2123 FAX:0952-57-2927
社員数	81名 内訳(事務職7名、製造28名、パート28名 他)

2 取組の推移

昭和57年	北山農協ふるさと振興課(新設)
昭和60年	大手外食産業と契約
昭和62年	野菜加工施設の建設(レタス、キャベツの加工)
平成11年	新野菜加工施設建設(移転)
平成23年	株式会社化
平成25年	低温製造可能工場へ改造
〃	大手コンビニと契約(キャベツ、レタス、ミックス野菜の製造)

3 加工・業務用野菜の取組概要

(1)基礎情報

主な野菜品目	キャベツ	レタス	だいこん
主な用途	カット野菜	カット野菜	カット野菜
年間使用量	1,320 t	1,600 t	490 t
国産使用比率	100%	100%	100%
主な産地 (入荷時期)	佐賀県、九州各県 (11～6月) 長野県、群馬県、茨城県 (7～10月)	佐賀県、長崎県 (11～5月) 長野県、群馬県、茨城県 (6～10月)	熊本県、鹿児島県、 佐賀県 (11～6月) 青森県、北海道 (7～10月)
主な原料調達先	(株)佐賀青果市場	福岡大同青果(株)	(株)佐賀青果市場
原料の受入形態	10～15kgDB 10kgコンテナ	8～15kgDB 10kgコンテナ	10～15kgDB
製品出荷先	業務用(九州) コンビニ向け(九州)	業務用(九州) コンビニ向け(九州)	コンビニ向け(九州)

注:年間使用量、国産使用比率は26年度データ

(2) 取組の特徴

大手の外食産業やコンビニと契約し、レタス、キャベツ等のカット野菜加工・販売を行っている。佐賀県産の野菜の契約取引の拡大により農家の経営安定を図っている。

- ①使用する野菜は、県内産が約2割程度を占め、不足分を市場調達。時期別には冬場を九州各県、夏場は長野、群馬、茨城産を中心に購入。
- ②地元のJAさが富士町レタス部会はGAP導入による生産を行い、再生産価格をもとに固定価格を設定した契約取引。
- ③製造過程で発生する残菜はもみ殻と混ぜ、富士町内のたい肥センターにおいてたい肥化し、町内のレタス農家ほか生産者に販売。

(3) 国産原材料の使用理由

JAさが100%出資の子会社として、県内生産者の農産物販売の拡大を図り、農家の所得安定に資するため。

(4) 関係機関の支援

- ①平成10年度 地域連携確立農業構造改善事業で野菜加工施設を整備。
- ②JAさが富士町レタス部会の会議に年2回参加し、生産者及び関係機関と情報交換を実施。

4 販売先の開拓

長年にわたる大手外食産業との取引実績もあり、納入先の紹介で、平成25年に大手コンビニとの取引を開始。

5 課題とその対応

- ①現在、8割強の原料を市場調達していることから、野菜の市場価格の変動の影響を受けやすいため、契約取引の拡大により購入価格を安定させる必要。
- ②施設、設備の老朽化による更新のための補助事業等がないことから、機械の導入など自己資金で対応せざるを得ない。大手コンビニとの契約では機械、設備を新規に整備。

6 取組成果

- ①JAさが富士町支所レタス生産者の経営安定に寄与。
- ②佐賀県産キャベツの作付面積の拡大。

7 今後の展開

- ①佐賀県の農産物の生産拡大に寄与する。
- ②JAさがでは、加工・業務用のたまねぎ、キャベツの産地化をはかるため、農作業負担軽減のための作業受委託などに取り組み、生産面積および生産量の拡大による生産振興を目指す。

8 その他

県内産の冬場(12~2月)の生産量を拡大する取組を支援してほしい。